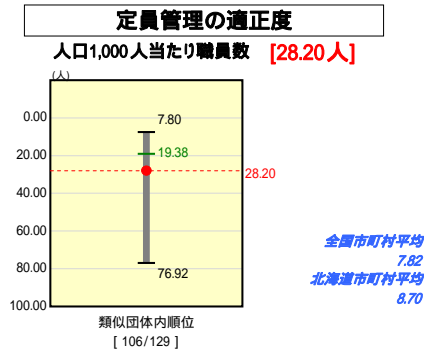
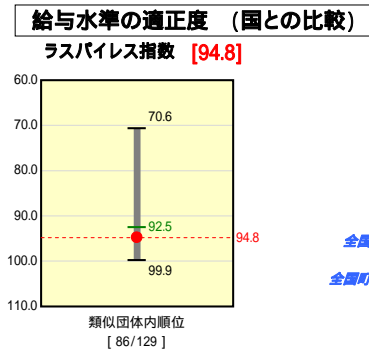
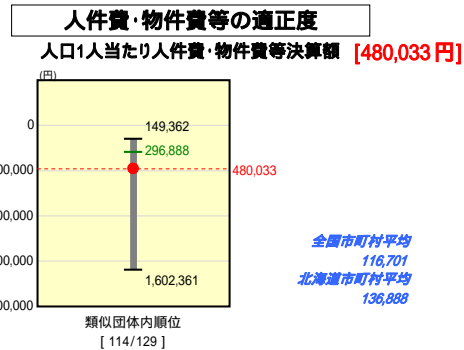
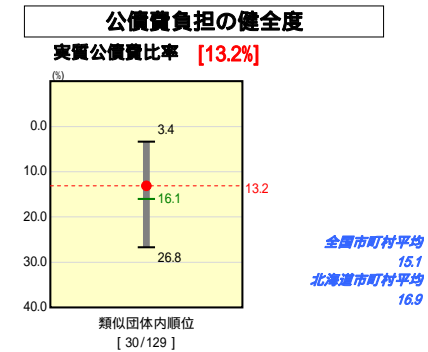
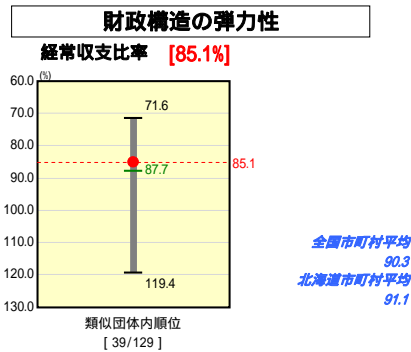
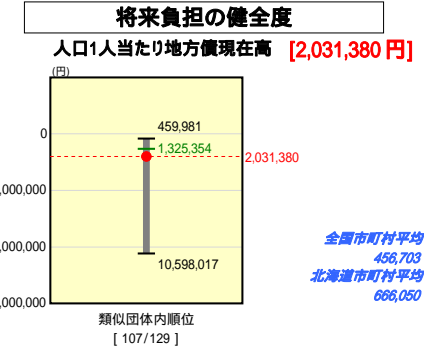
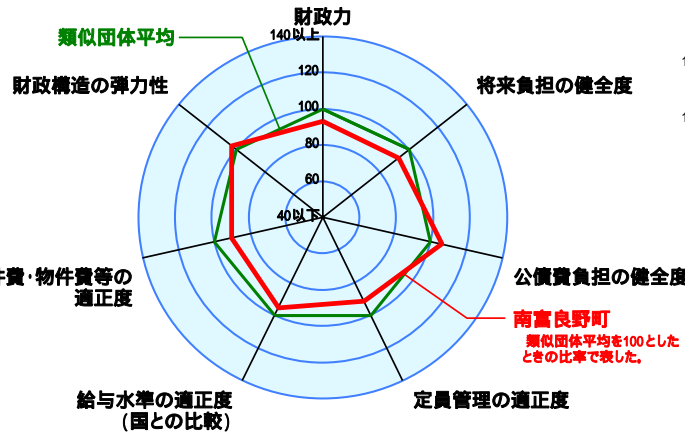
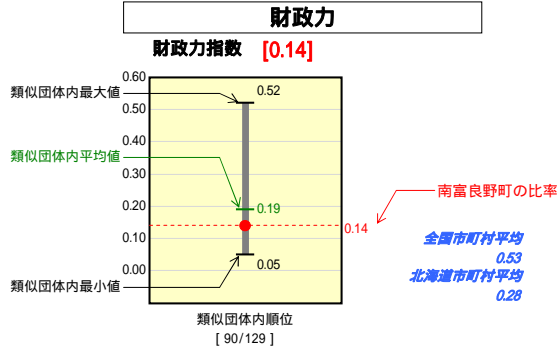


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 南富良野町

人口	2,943	人(H19.3.31現在)
面積	665.52	km ²
歳入総額	3,751,527	千円
歳出総額	3,739,812	千円
実質収支	11,715	千円



分析欄

財政力指数: 長引く景気低迷による個人・法人関係の減収や農産物価格の下落により税収が低下していることから0.14と類似団体平均を下回っている。行財政改革による人件費削減や組織機構の見直し、投資的経費の抑制など歳出を抑制するとともに、公共料金の改定や税収の収納率向上など歳入確保に努める。

経常収支比率: 類似団体平均を下回っているが85.1と高水準にあり財政は硬直化している。行財政改革による人件費の削減や組織機構の見直しによる事務事業の効率化により義務的経費の抑制に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 山間に広大な行政面積を持ち、かつ中心部に人口を抱えていることから、集落が分散し行政コストが高くなる地理的条件にあり、480,033円と類似団体平均を上回っている。定員管理の適正化や近隣市町村との広域事務化を図るほか、特別養護老人ホームの民間移譲など経費削減に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 建設事業の抑制により地方債残高の圧縮に努めているが、2,031,380円と類似団体平均を上回っている。平成19年度に特別養護老人ホームを建設するため新たに7億円の地方債発行が見込まれることから、他事業における地方債発行の抑制により財政の健全化に努める。

実質公債費比率: 13.2%と類似団体平均を下回っている。今後も計画的な事業実施により新規起債発行の抑制に努める。

ラスパイレズ指数: 平成16年度から18年度までを重点期間とする行財政改革による職員給与の10%削減や各種手当の見直しにより94.8と類似団体平均とほぼ同水準にある。

人口1,000人当たりの職員数: 人口が2,943人と類似団体の中でも少ないため28.20人と平均を上回っている。新規採用の抑制により効果を上げているが、今後も定員適正化計画に基づく退職者不補充や特別養護老人ホームの民間移譲により5年間で28.3% (32人) を削減する。